

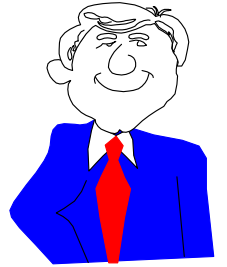
学校情報・生活情報・勉強情報満載!



あむーる

島根県立松江北高等学校14R学級通信 第5号

No.5



小田和正の生き方に学ぶ!

「僕自身、60を過ぎて歌うなんて予想もなかったけど、声は今が一番よく出ている。節制してないのに不思議です。いろんなことにチャレンジし失敗もして、悔しがったり喜んだりしているから、いつも新鮮でいられるのかもかもしれません」と小田。「将来は締めくくりにして、代表曲を英語で歌ったCDを作りたい。欧米の音楽を目指してやってきましたよ。」と小田(素敵なジジイ)。(中略)

「ソロになってから280万枚を売り出した時のシングル売り上げ記録を作った「ラブストーリー」は突然に(東京ラプストリー主題歌)でもうけし、数年前と比べていた念願の映画制作の資金ができる。92年に自ら脚本、監督、音楽を手がけた「いつかどこかで」を全国公開。だが映画評論家からは酷評される。「才能の無い者に映画を撮らせてはいけない」とまで言われた。悔しさを体で震えたという。意地で2作目「緑の街」を映画館で上映せずに地元の小ホール上映で全国を回る。次の3作目が勝負だという(男の夢と意地)。

「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。当時のヒットメーカー筒美京平の書いたシングル「忘れ雪」を、コンサートでどうも歌いたくないと拒否し続ける。レコードを売りたい事務所側と「新人のくせに生意気だ」と対立(一部のファンの間では「忘れ雪事件」として知られる)。小田は「歌いたくないものは歌えない」と自説を曲げず押し通す(自分に正直に生きる)。「笑っていいとも」に生出演した小田は、タモリの質問に一切答えなかった。

あれほど嫌いだっただけのCM(ネスカフェエコーヒュー)にも出演する。「何でも体験しておこう」と好きなゴルフのキャディーに挑戦。青木功のアメリカでのシニア大会に同行する(幅広い興味とその追求)。他の選手の邪魔をしてしまったり、残り距離の計算を間違えたりと、緊張で失敗の連続。いい年をして、青木さんに「こら、何やってんだ」と怒られたり。

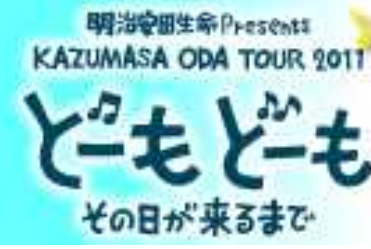
「近代建築の巨匠を論文で切り捨て、目の前にいる先生が設計した理工学部校舎まで否定するなど若気の至りで言いたい放題(自分にあくまで正直に)」。さすがに「建築はダメで音楽はいい」と言うのか、君は」と先生が怒り出す。最後は「訣別」の題名を穏便なものに変更するという条件で論文を受け取ってもらった。その足でライブハウスの新宿ルイードで歌う。「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。

「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。当時のヒットメーカー筒美京平の書いたシングル「忘れ雪」を、コンサートでどうも歌いたくないと拒否し続ける。レコードを売りたい事務所側と「新人のくせに生意気だ」と対立(一部のファンの間では「忘れ雪事件」として知られる)。小田は「歌いたくないものは歌えない」と自説を曲げず押し通す(自分に正直に生きる)。「笑っていいとも」に生出演した小田は、タモリの質問に一切答えなかった。

「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。当時のヒットメーカー筒美京平の書いたシングル「忘れ雪」を、コンサートでどうも歌いたくないと拒否し続ける。レコードを売りたい事務所側と「新人のくせに生意気だ」と対立(一部のファンの間では「忘れ雪事件」として知られる)。小田は「歌いたくないものは歌えない」と自説を曲げず押し通す(自分に正直に生きる)。「笑っていいとも」に生出演した小田は、タモリの質問に一切答えなかった。

「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。当時のヒットメーカー筒美京平の書いたシングル「忘れ雪」を、コンサートでどうも歌いたくないと拒否し続ける。レコードを売りたい事務所側と「新人のくせに生意気だ」と対立(一部のファンの間では「忘れ雪事件」として知られる)。小田は「歌いたくないものは歌えない」と自説を曲げず押し通す(自分に正直に生きる)。「笑っていいとも」に生出演した小田は、タモリの質問に一切答えなかった。

「今日、僕は建築をやめてきました。これから頑張る音楽をやっています」と(人生の転機)。当時のヒットメーカー筒美京平の書いたシングル「忘れ雪」を、コンサートでどうも歌いたくないと拒否し続ける。レコードを売りたい事務所側と「新人のくせに生意気だ」と対立(一部のファンの間では「忘れ雪事件」として知られる)。小田は「歌いたくないものは歌えない」と自説を曲げず押し通す(自分に正直に生きる)。「笑っていいとも」に生出演した小田は、タモリの質問に一切答えなかった。



- 1947年 小田薬局の次男坊として生まれる
- 1958年 登校拒否のすえ私立から公立の小学校へ転校
- 1961年 聖光学園野球部のキャプテンに
- 1965年 仲間と学園祭で歌いまくる
- 1969年 「オフコース」デビュー
- 1973年 修士論文発表の日、主任教授と大喧嘩。夜はライブハウスで歌う。建築との決別の日。
- 1979年 女の子たちからキャーキャー言われ出す。「愛を止めないで」「さよなら」「Yes-No」「Yes-Yes-Yes」など大ヒットを連発
- 1988年 オフコース解散
- 1991年 「ラブストーリー」は突然に(「東京ラプストリー」主題歌280万枚!突破)
- 1997年 2作目の映画「緑の街」を有言実行
- 2002年 『自己ベスト』1位 オリコン400週連続チャートイン記録
- 2007年 『自己ベスト2』最年長1位記録更新
- 2011年 『ど〜も』全国ツアー展開中

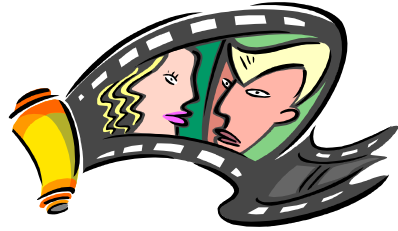


▲小田和正略年譜

昔の曲に書き直しを考えたのは?

「山椒魚」のラストシーンを書き換えたのと似ている。「あれは自分に対しての言い訳だから。やればもっとできたんじゃないかなっていうね。」「人生はやり直しがきかないけど、やり直せるならそうしたい、という想いから始まったんだよ。」高校時代は野球部で外野を守り、東北大学工学部で建築を専攻し、早稲田大学の大学院まで行った理系の小田さんらしい言葉だ。彼のすてきな歌の詩はなんと風呂で書くという。「みんな風呂は体を洗ったり、チヨット考え事をする場所ぐらいに思って、本格的に創造する場所とは思っていないかもしれないけど、自分が思っている以上に解放されるね。「今回はダメだろうな」と思っても、風呂に入るとなぜかサーッと書ける。」60代が頑張っている。(中略)

下の雑文は、今から11年前の2000年に「大田高校」の「進路指導部ニュース」に書いたもの。僕は英語の新聞、テレビ、映画、雑誌、小説全てをネタにして英語の勉強をしているが、その中で映画を取り上げたもの。今はCNNやBBCがライブで見ることができる環境ができたので、ずいぶん英語の勉強には役立っている。SeventeenやCosmopolitanを購読している教員は僕ぐらいなものだろう。そこでチョット気になった表現があるとすぐメモしておく。これが後で生きてくる。勉強の「コツ」だ。***



▲毎週末サティの映画館へ行っては映画を観ていた。アイマスクをして耳を訓練しようとしていた。大田に来てからは映画館に通うことができなくなったが、それでもビデオを借りて訓練を続けている。よ〜く観ているといろいろと勉強になることが多い。最近の洋画から紹介してみよう。●「U. M. A. ~レイクプラシッド」というワニのホラー映画では、頭のイカれたワニ研究者に向かって保安官が“I think you're mental.”という場面が出てくる。このmentalという単語の使い方が興味深い。「精神的な」という意味は誰でも知っているが、口語では「頭の狂った」という意味である。●「スクリーム3」というホラーシリーズ最新作では、コーヒーを持ってきたウエイレスが客に向かって“Here we go.”(さあどうぞ)と。“Here it is.”とどっちが普通なのか?“Give me a break.”(もうやめて) snap(キれる)もメモしておいた。●ジェームズボンド最新作「ワールド・イズ・ノット・イナフ」ではStockholm syndrome(ストックホルム症候群)という表現がどうしても分からなかった。地理の藤井先生にこの話をしたところ、「人質監禁事件において人質が長い監禁のうちに外部にいる味方に反感を抱き、逆に犯人に屈服して親近感を抱くようになること」の意味であることを教えていただいた。なるほど人質犯人に愛情を抱く娘という場面だった。●「シックスティーン」では“Stay civilized.”(落ち着いて)をメモした。また“What's the matter with you?”とwith youがつくと苛立ちや非難のニュアンスが強くなることも確認した。●飛行機パニック物「タービュランス2」ではハイジャックした犯人に「乗客みんなで立ち向かおう」という場面が出てきて「私もやるわ」「Me,two」という言葉に続いて“Me three.”と続けばあちゃんが出てくる。この“Me,three.”という表現に興味を持った。ロビン先生によればこれはおどけて使うもので、“Me,four.”“Me five.”は論理的に可能だけれど普通ではないとの観察を示された。●「NYPD 15分署」の中では娼婦が殺されてgarbage dumpsterの中に捨てられる場面が出てくるが、このアメリカ独特の「ゴミ箱」の dumpster という単語が教員に成り立ての頃辞書に載っていない苦勞した覚えがある。ニューヨークの知人に dumpster の写真を撮りまくってもらったのもいい思い出である。また、この映画の中に“10-85”(ten eight fiveと発音していた)発生!“10-85”発生”という字幕が出てきてどうも訳者が分かっていないようだった(戸田奈津子さんならこんなことは絶対にしないのにと思いながら見た)。実はこれはアメリカの警察が使っているTen-codeと呼ばれる無線暗号で、バトリシア・コーンウェルのスカーベッタ物を読んでいた時に訳本(講談社文庫版)でいい加減な扱いをされているのに気がついた。学生時代からエド・マクベインの推理小説でこのten-codeの用例をたくさん集めていたので、興味を持って調べていた。インターネットで調べたコードの種類がどうしてもエドマクベインの小説内で使われるものと一致しない。そこでマクベイン通で知られる東京の会社社長の直井明氏にお手紙をしたところ、マクベイン本人に確認をとってくださった。それによれば彼のten-codeはニューヨーク警察で使われているもので、全米各地ではバラバラであることが判明した。ちなみにこの映画に出てくる10-85は「応援が必要」という意味だ。マクベイン本人から送ってもらったニューヨーク警察の一覧表が手元にあるのでこの映画もよく分かった。▲映画も観ようによっては英語の勉強にもなり、楽しいものだ。***

映画も英語の勉強になる?!

竹内均先生の助言!

第2・3号で故竹内均先生の話を紹介した。この人は怪物のような人で、その生き方に学ぶところの多い人である。松江南高校に勤めていたときのことである。松江くにびきメッセに竹内均(たけうちひとし)博士がやってくると言う。担任していたクラス全員を連れて大挙して講演会に出かけていった。講演を聴いた生徒たちが口を揃えて「こういう人を本物というんですね。いいヒントをもらいました」と喜んでくれた。彼は70歳を越えて本を300冊以上書き、東大の名誉教授を務め、雑誌『ニュートン』の編集長を務め、代々木ゼミナールの校長を兼務し、テレビに出演したり、全国を講演に飛び歩いていた。一体どうやってこんな仕事をごこなしているのか。身体も頭も一つなのに、一人で「十人前」の仕事をごこなしている彼が自分で実行して、驚くほど効果をあげている「頭脳鍛錬法」を全て開陳したのが、『事例研究頭がよくなる本』(三笠書房、1100円)だ。卒業生たちにずいぶん薦めてきたが、「もっと早くこんな本を読めばよかった」と非常に好評だった本だ。例えば、「時間がない、ない」とこぼす生徒諸君に、竹内さんが実行していることは「早寝早起き」であるという。しかも仕事のできる人はみんな朝で差をつけているという。朝8時前に飛び起きて遅刻ぎりぎりに登校したり、日曜日に朝9時、10時まで寝ているようでは話にならないということである。その昔、学生運動が盛んな頃、東京大学も教授達を学内に入れないう、活動家の学生が授業妨害をやっていた。しかしこの竹内先生だけは常に研究室で研究に没頭していたという。竹内先生は朝の六時半に東大に入り自分の研究室に行く。学生はその時間はまだ寝ているから妨害のしようがないという訳である。「あの先生ばかりはどうしようもない」と学生たちがこぼす。有名な話である。健康面だけでなく、頭の働きという点でも朝はとて素晴らしいという結論が出ている。センター試験本番前になって慌てて朝早起きに直してもすぐボロが出る。今のうちから心がけてみる価値のあることではある。さらに竹内さんは、「限られた時間を有効に生かす7つのポイント」を挙げている。早速実行して欲しい。僕は竹内先生からさまざまな教えをいただきました。感謝、感謝です。

① チョットした「すきま時間」を上手に活用する(たった15分でもよい)!

② やるべきことの優先順位をきっちりつける!(1, 2, 3, 4, 5, ...)

③ 全部を自分で背負い込まない!

④ 問題を絶対に先送りしない!

⑤ 「死に時間」をなくす!

⑥ 約束の時間は必ず守る!

⑦ メモをこまめにつける!

頭を良くする方法

竹内流

できる人はそれなりのことをやっているのですね。集中力のない人には次の7つのポイントが示されている。早速試してみましょう。***

- ① 「成功」をイメージする。
- ② 「締め切り効果」を利用する。
- ③ ときには目先を変えてみる。
- ④ 自分に見合った目標を設定する。
- ⑤ 上手な気分転換を工夫する。
- ⑥ 悩みのタネは早めに取り除く。
- ⑦ 自分の集中しやすい環境を知る。

島根県立大学紹介

●島根県立大学が開学したとき、宇野学長にお招きいただいた学内を案内してもらいました。スゴイ設備と教授陣で、感動したのを覚えています。その当時の感想を載せておきました。やはり直接足を運んで自分の目で見るのが大切です。この夏のオープンキャンパスにはぜひ足を運んで直接体験してみましょう。来週は「オープンキャンパス」を特集します。***

緑豊かな自然に囲まれたキャンパスの中に、ものすごい設備がある大学です。半円形の入り口を中心に、左右対称にデザインされた「講義・研究棟」の各席には電源とモデム用ジャックが完備されており、いつでもパソコン(全員入学時に購入必要)をつなげて利用できる環境が整っています。入学式の行われた講義棟は巨大プロジェクトを備え、同時通訳ブースも完備、600人が収容できる円形の講義室です。前の席を倒すと机に早変わりし、手持ちのパソコンが世界と繋がる情報コンセント付きの300席が誕生します。コンサートや国際シンポジウムの舞台となる場所です。私が訪問したときも国連大学の宿泊セミナーを行っており各地からの学生が活発に議論発表をしていました。情報の宝庫メディアセンターには驚かされた。1階は木のおい漂う図書館ですが、この中にはビデオやレーザーディスクが鑑賞できる最新設備が何箇所もありました。「メディアプラザ」と呼ぶのでさうです。2階は各国から来る研究者と交流のできるラウンジとコンピュータ演習室が2部屋ありました。最新設備の整った環境の中で学生が意欲を持って学生生活を送れるように至れり尽くせりといった感じですね。おしゃれな学生会館(天井が高く短大時代の体育館を改造?)1階が300名収容の学生食堂(2階はコーヒーを飲みながら談笑できるラウンジ)と各フロアにモダンな学生寮(国際交流会館)も見せてもらいましたが、全室個室で、各フロアには留学生を配置して国際性を養う工夫をしたいと言っておられました。寮の入り口は指紋登録により玄関が最新セキュリティ設備でプライバシーが守られるようになっています。ちなみに来年度の寮費はわずか月1万1千円だそうです。広い陸上グラウンド、体育館、ゴルフ練習場、4面テニスコート、武道場、トレーニング室なども揃っています。北東アジア地域研究センターが開設されており、宿泊コンベンション会議共同研究の機能を備えており、その研究成果は学部還元されるとのこと。ここからの夜景が絶品だよとは卒業生の言葉でした。

